

現在の子どもの様子		ねらい	行事	自己評価
養護生 （健 人 環 言 表） 教育 内容	環境構成	保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り	
・進級する事に喜びと自信を持ち、落ち着いて生活する姿がみられ、新しい保育室でも楽しく遊べている。 ・新しい環境にも少しずつ慣れてきており、一日の流れも出来つつある。 ・トイレについても戸惑うこともなく、上手に使っている。 ・スリッパを上手に使い、きちんと揃えて脱ぐことが出来る。	・担任に親しみを持ち、安心して過ごせるようにする。 ・新しい環境に慣れ、生活の仕方がわかる。	3日進級・入園を祝う会 13日英語で遊ぼう 17日避難訓練 25日幼稚集会 27日こどもの日集会	・新学期は、保育士の人数も減り、保護者も子どもも不安になりがちだが、2名の担任で効率よく、またスムーズに生活が送れるよう常に考えながら進める事ができたと思う。 ・生活の流れの基礎を作る段階では、新入園児1名もあり、難しい状況もあったが、活動の順番や声掛けのタイミングなどよく配慮できていたと思う。	
・園生活に期待を持ち、喜んで登園する。 ・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ・ロッカーなど個人の場所や生活の流れが分かり自分でやってみようとする。  ・衣服の着脱を自分でしようとし、脱いだ服は所定の位置にしまうことを知る。 ・保育者や友達に关心を持ち親しむ。 ・好きな遊びを見つける。 ・春の自然に触れて遊ぶ。 (草花についてや虫探しなど)  ・集会やお話し会に参加する。 ・季節の歌や製作を楽しむ。	・安心して、生活ができる場の設定。 ・動線や生活の流れを定着していく。 ・一人ひとりのマークを個人の場所につける。(ロッカーやフック、靴箱など)  ・コーナー遊びの場所を確保する ・玩具の調整をし、興味を持てるような配置をし、見やすく分かり易くする。  ・外遊び、散歩の充実をはかる。 ・春にまつわる絵本や図鑑を本棚に用意する。  ・集団生活に必要な、きまりやルールについて、分かり易く伝えていく。 ・必要な教材の準備や興味が持てる場を設定する。	・一人ひとりの様子に留意して、気持ちや体調の変化に気付き、丁寧に関わり適切に対応する。 ・適切な休憩をとり、心身の緊張をやわらげるようにする。  ・生活の仕方を保育者が一緒にを行い繰り返し伝えていく。また、自分でしようとする気持ちを大切にし、見守り、できた時は十分にほめ、進めていく。  ・好きな遊びが見つけられるように個々に対応し、保育者が一緒に遊んだり誘ったりする。  ・挨拶や態度の大切さを伝えて保育者が手本となる。  ・子どもが描いたり作ったりしたものを認めて表現する楽しさを知らせていく。	・一人ひとりの様子を気にかけ、丁寧に関わることを心掛けた。 ・玩具の見直し(適切な月齢にあっているか)を行い、危険のないように環境を整えた。  ・担任が連携を図り、子ども達が生活しやすい様な配置、また活動の流れなど、定着するように繰り返し行う様にした。 少しずつ、子ども達自身が、1日の生活の流れを把握して、自発的に着替えや手洗い・排泄などを行えるようになってきた。  ・登園してからの時間やおやつ後など、積極的に園庭に出て户外遊びを取り入れる事で、のびのびと身体を動かし、過ごすことができた。  ・体制などを考慮しながらも、園外の散歩にいく機会がもてた。 また、その時に道路の歩き方や公共の場所でのマナーなど丁寧に教える機会が持てた。  ・制作では、季節のもの(こいのぼり)を作成する際、新しく幼児クラスに用意されたのりを使うものを取り入れた。	
・楽しい雰囲気の中で保育者や友達と一緒に食事をする。 ・食器や道具の正しい持ち方を意識する。	・保育者も一緒に食事をする。	・会話をしながら、楽しく食事をする。 ・無理せず食べられるように、個々の様子に気を配る	・保育士も一緒に食べながら、「おいしいね」と声をかけ、和やかに食事が済める様になってきた。 ・苦手な野菜も一口でも食べてみようとする子が増えている。	